



片泊地区 六〇代男性

「ほどよい弾力の実を選べば、弾は10mは飛びます。単純で夢中になれる遊びです。」

思い出話

二〇一九年、三島片泊学園の子供たちは、地区の住民にあくち鉄砲の作り方を学び、自作して遊んだ。

竹は、空気を塞ぐために実にあつた大きさを選ぶ。押し出し棒は、次弾がうまく筒に残るよう長さを調整する。また棒の持ち手は竹の節の部分を使う。

▲あくち鉄砲は竹筒の端に弾用の実▲を詰め、もう片方には空気圧縮用の栓に実▲を詰めて竹棒で勢よく押し出す。弾用の実▲は空気の圧縮で押し出され軽快な音とともに飛び出す。栓にした実▲は、弾用の実▲があつた位置に移動するのでそのまま次の弾になる。

実は丸く七〜八mmほどで黒紫色や赤に熟す。五〜七月に花をつけ、十二月頃までに実を成す。熟した実は甘く、若干しびみがある。また、未熟な青い実は「あくち鉄砲」という竹鉄砲の弾として、子供の遊び道具となつた。

黒島には「あくち」と呼ぶ約二〜八mの常緑樹が自生する。学名は「モクダバナ」で、あくちという名は、奄美大島、徳之島、沖永良部島、与論島でも使う。分布は、四国南部や九州以南、台湾、中国で、低地から山林に多い。生垣にすることもある。熟した実は生で食べられ、昔の子供には身近な木だつた。

片泊

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
旧 9/7	旧 9/8	旧 9/9	旧 9/10	旧 9/11	旧 9/12	旧 9/13
9	10	11	12	13	14	15
旧 9/14	旧 9/15	旧 9/16	旧 9/17	旧 9/18	旧 9/19	旧 9/20
16	17	18	19	20	21	22
旧 9/21	旧 9/22	旧 9/23	旧 9/24	旧 9/25	旧 9/26	旧 9/27
23	24	25	26	27	28	29
旧 9/28	旧 9/29	旧 9/30	旧 10/1	旧 10/2	旧 10/3	旧 10/4
30	31					
旧 10/6	旧 10/7					